

2026 年度地域医療構想調整会議資料（在宅医療領域）

2026 年 9 月 29 日

朝霞地区医師会理事 町田 穰

朝霞地区医師会として在宅医療に携わる会員が主体となり、医療介護連携推進について行っている活動について、ご報告申し上げます。昨年度の報告と異なり、かかりつけ医機能強化に関して⑥ 認知症サポート医/かかりつけ医機能活用に関して新たな取り組みをしています。

① 在宅緩和ケア推進ネットワーク活動

■ネットワークから地域に向けたミッション

- ・がんや、その他の生命にかかわる病気になっても、安心して家で・地域で過ごせる朝霞地区をつくれます。
- ・多死社会の時代に入った私たちの地域で、安心して療養し、介護し、終わり、看取るための受け皿を目指します。

■活動実績(2026 年8月現在)

- ・参加会員 318 名／会員の在籍する医療機関 17 件、調剤薬局 43 件、訪問看護ステーション14件、福祉・介護事業所55件
- ・会員向けツール:E ラーニング教材(全職種向け・医師看護師薬剤師向け・介護職種向け)
- ・会員向けツール:症状緩和クイックリファレンス「片手間緩和ケアのすすめ」
- ・症例検討会:2024.9 月から年4回開催 累計8回開催(参加者数:累計807名)
- ・地域向け冊子「がんと向き合う暮らしのガイド」発行(2025 年 12 月)

② 急変時対応時の高齢者施設と受け入れ病院間、消防（救急）の情報共有を支援する活動

■活動目標

急変時において、生活の場(在宅、施設)からの迅速かつ円滑な搬送ができるようにするため、利用者に関する情報を救急隊、搬送先病院に伝えることができる文書(急変時に活用できる情報を整理した用紙)の作成と地域での普及を図る

■活動実績

- ・朝霞地区・急変時対応の手引き～高齢者施設版～作成(2025年7月)
- ・急変時対応シンポジウム(手引きの啓発)開催(2025年7月) 参加者数:64名
- ・救急救命医・救急隊員・病院の入退院支援看護師による朝霞地区4市へのお届け講座(急変時対応の手引き普及啓発) 参加者数:129名
- ・ケースカンファレンス:入退院支援と急変時の対応の連携課題を事例を通して、関係者が私事として考える場として開始 第1回:参加者数 42名

③ ACP 普及活動 (医療・介護従事者向け研修)

- ・テーマ:地域で支える看取り～がんと向き合う暮らしのガイドブックの活用～
2026.1月 参加者数:94名
- ・テーマ:より良く生きる!を支え、実践力を身につける
2026.6月 参加者数:33名

④ ケースカンファレンス(予定)

- ・(緩和)症例検討会:今年度下半期2回予定
- ・(急変時・入退院)ケースカンファレンス:今年度下半期2回予定

⑤ 認知症サポート医/かかりつけ医活用

- ・認知症初期集中支援チーム活動の見直しについて、基礎自治体と協議を開始

⑥ その他

- ・4市の地域ケア会議にアドバイザーとして参加
- ・在宅療養者の生活の場において、医療と介護の連携した対応が求められる4つの